松代公民館新聞

發行所
松代公民館
編輯兼發行人
館長 佐藤秀雄
發行日
毎月三回
10日、20日、30日

松代村 農業調整委員會委員 選挙得票者發表さる

―松代村選挙管理委員會より―

十一月三十日、本紙既報の通り選挙会場並四つの各投票分会場で執行された本村農業調整委員会委員選挙は、午前七時投票開始、思いもよらぬ多量の初雪に、天候の不順に選挙の出足もにぶるのではないかと憂慮されたが、前にこと変り大した降雪もなく、順調な出足を見せ午後二時終了、午後四時より松代公民館で開票を行った、その結果得票者は左の通りである

得票数	部落名	氏名	年令
七四票	下山	宮澤倉治	四一才
七二〃	滿水	秋山利作	四三
六八〃	松代	柳貝輔	四〇
六六〃	太平	宮澤誠	五九
六〇〃	犬状	山本爲次	五五
五二〃	片桐山	山岸武保	五一
五二〃	海老	山岡延夫	三八
四六〃	松代	岩谷茂衛	四四
四五〃	会澤	小野島芳太郎	四五
四三〃	庭平	若井清八	六二
四一〃	菅刈	西片忠太郎	四九
四一〃	桐山	小山菊次郎	四三
四一〃	孟地	山本高一郎	三六
三九〃	池尻	瀬谷菊治	四六
三五〃	千耳	島田幾次郎	四九

この選挙の結果は選挙管理委員会に於て直ちに縣及び地方事務所へ報告すると共に、一方各得票者に対しその当選を通知した。各当選者はその当選通知を受取ってから十日以内に当選承諾書を選挙管理委員会に提出せねばならない、その承諾書の提出期限を経過すると折角の当選が無効となる。尚この委員は兼職禁止の規定はないが官公吏の場合は上司の承認を認めることを要することになっている。而して村当局は廿一日の委員会を本月十五日前に招集村長推薦委員三人の承認を認めると共に会長、副会長及び部代表委員二名の互選を行う予定である。食糧窮迫下の農業調整委員会の任務は誠に重且つ大なるものがあるが新委員のこれに対する活躍と健闘が要望されている。

註 上記得票者の外に投票された方もありますが都合により之を省略し、村選管委員会の当選発表した者のみを掲載したから御了察ねがいます。

なほ選挙会場及び各投票分会場の投票の成績は次のようである。

一、選挙会場では

字名	有権者数	投票者数	棄権者数	投票率(パーセント)
松代	一六二	一二二	四〇	七五%
小荒戸	三七	二六	一一	七〇
太平	二八	二三	五	八二
菅刈	四八	四二	六	八七
田沢	三四	二六	八	七六
千耳	八七	五九	二八	六七
池尻	二九	二一	八	七二
建平	七九	四六	三三	五八
計	五〇四	三六五	一三九	七二%

一、第二投票分会場では

字名	有権者数	投票者数	棄権者数	投票率
山ヤ丸	一九	一九	〇	一〇〇%
池之畑	二五	二五	〇	一〇〇
下山	三七	三七	〇	一〇〇
計	八一	八一	〇	一〇〇%

一、第三投票分会場では

字名	有権者数	投票者数	棄権者数	投票率
会澤	五〇	四六	四	九二%
滿水	七四	六八	六	九一
桐山	四九	四三	六	八七．七
計	一七三	一五七	一六	九〇．七%

一、第四投票分会場では

字名	有権者数	投票者数	棄権者数	投票率
東山	一〇	九	一	九〇%
海老	五一	四三	八	八四%
計	六一	五二	九	八五%

一、第五投票分会場では

字名	有権者数	投票者数	棄権者数	投票率
犬状	七二	六三	九	八七%
孟地	二五	二四	一	九六
片桐山	一六	一五	一	九三
瀬沢	二七	二六	一	九六
由子	一〇	七	三	七〇
芽島	三六	一七	一九	四七
荒瀬	七	六	一	八五
計	一九三	一五八	三五	八一%

	有権者数	投票者数	棄権者数	投票率
総計	一〇一二	八一三	一九九	八〇．四%

松代診療所の新築成る

全身創痍の新日本の建設は一にかかって村民の健康から・・・と前村長市川梭雄氏、前農業会長柳嶋藏氏との努力がその効を奏し、今回農業協同組合の手によって松代診療所は新築せられ、十一月二十七日、松代公民館で官民多数参列の下、落成式が挙行せられた。本の香新しい診療所は四間八間の二階建、階上に入院室の設備もあり村民にもたらす福祉の絶大なものである。

本郡の農民祭

農業協同組合

昭和二十三年度産米供出は十一月十日全部完納となったので十一月二十五日下県合村顕聖寺に於て縣 縣官臨席の許に盛大に挙行された。この農民祭は供米完納と農地改革施行三週年記念 農業協同組合創立壱週年記念を併せて催されたものである。尚この農地改革により郡内三千数百町歩の田畑が小作農民の手に帰し自作農となったわけであるが單なる解放と考へず今后の農業技術の向上と併せて農家経営の面に一段と研究と努力を要望すると係官は強調せられた。

松代村農民連盟の動き

農民連盟中央執行委員會発表

一、小作料の一括納入
本年度小作料は開放土地を含み地主へ一括納入とすることとし十二月一日より十日までの間に代表者をして納入することにせり。

二、用水掛は耕作者に於て暫定的に全面負担することとせり。

三、小作契約の文書化促進要求
・文書契約実施方につき農地委員会に許願せり。

四、松代支部では左の通り人夫賃を実施致したいと協議し総代を通じて承認せられたし

馬付　一日　百三十円
辨當持　一日　百八十円

予告

どうぞ御出席下さい

地方自治法普及座談會

主催 松代公民館

私達の自治法を身につけるため村民としての権利・義務を正しく明るく履行するため座談会を催したいと思います。期日・場所等は街頭広告致します。

民主主義に就いて

[illegible]　宮下謙松（寄稿）

民主主義の制度は合議制と多数決とをその特徴とする

それ故民主々義の良さも弱さも欠点も総てこの合議制と多数決とに存するのである。民主々義の制度を無條件に(?)内容として履行することを余儀なくされている今日に於ては漫然たる民主々義を云為する位なんせんすはない。本当に民主々義を我国に成功させたいと希望するならば民主々義のよさよりも、むしろ其の弱さと欠点に注意しなければならない。民主々義の乱用と行き過ぎを警戒しなければならない。

特に恥づべき勝味なき太平洋戦を自分から誘発して而もこれに破れたる如き種々の事実は日本民族の二千六百年来の民族悪を素直に認めるものである。この民族悪を立て直す精進が日本国民に行われない以上民主々義は決して我国に成功するものではない。

終戦以来三年、激しい(?)たる世相、腐敗せる官吏、堕落せる政党、殊に議会を中心とする政党政治の堕落がそのことを示すものであります。民主々義そのことを述べる前に民主々義以前のことを[illegible]ければならない。

民主々義の前提として種々のことも考へられるが暴力の否定ということは最も其の重大なるものではあるまいか。民主々義の特徴とその多数決を神聖化し絶体化するためには合議制と多数決の内容をなす個人の意見と云うものを神聖化し絶体化する必要がある。

日常茶飯時、小便の出ないとき便所に入り、のどがかわいたら水を飲む程度に死に直面し生を考へたらよろしい。そうした上で日本人の武人がやるような辞世とか遺言とか馬鹿げた偽善的なごまかしをやる習慣はなくなるであろう。

論語曰く

鳥の将に死なんとするや　その鳴くや哀し

人の将に死なんとするや　その言や善し

と云う言葉に端を発して日本人は古武人が辞世さう事を好むようになったのであろうか？

これ日本人は生に対する本当の執着があり、死に対して本当の恐怖がある。その死に対する恐怖が死に対する恐怖として表現されぬ所に日本民族の複雑怪奇な(?)性格と複雑化させしめた原因は暴力の信仰を容認(?)することを見逃してはいけないと思う。

個人主義の前提としては自由主義がある。自由に表明された個人の意見にこそ神聖を見出そうと云うのは民主々義の約束であるから、その個人の意思が自由に表明されずに他の力によって、ゆがめられる場合にはこの民主々義は成り立たないと見なければならない。ここに暴力の否定を民主々義の前提としなければならない理由があるのではなかろうか。従来の国家とは暴力の表徴に外ならない。想うに第一世界大戦が民主々義と非民主々義の戦となって民主々義の勝利となった。それから二十年、第二次世界大戦が再び民主々義対全体主義の戦となって再び民主々義が勝利となった。そこで今の民主々義は世界の秩序となりつつあるのである。少しく言えば無條件降伏の我国としては民主々義を今日の世界の新秩序として観念するのでなければこれを立派に育て上げることは不可能であろう。

かくの如く民主々義が今后世界普遍の原理である為にはどうしても理論上からも実践されなければならない教義でなければならないと思われる。その時一番問題となるのは暴力と民主々義の関係であろう。暴力の下に、暴力の勝(?)に果して民主々義は存在し得るであろうか。今后民主々義が世界の新秩序として人類文化の擁護と発展の最高の責任が課せられるならば今迄のような其の理論に於ける曖昧は許されない。どうしても民主々義の特徴たる合議制と多数決の神聖化と絶体化とは人類最高の努力精進が顕われなければならない。この時問題となるのは暴力である。あるかなる暴力なるものが行われるならばこれは人類の滅亡、文明の没落を意味する。如何に人類が滅亡し、文明が没落するか？

これは第二次世界大戦に敗れた日本民族が一番良く知っている筈である。人類の滅亡とは人類が栄養不良で死ぬことであり、戦争で殊に原子爆弾で人類が多数一度に死ぬことであり、戦争で正しい愛国心に燃えた強い人達が最初に死んでゆくことであり、弱い不正な人達が死残ることであり、戦后の社会の不安と政治の堕落とは、正しからざる人達が栄えることである。そして人類の滅亡とは生物として滅亡する前に先ず人類としての存在を失うことである。

今日日本民族にあるような暴力を伴う行動!!がこれ以上日本民族に続いてあるければ先ず文明の没落となり日本民族が滅びる。文明の没落とは物資の極端な欠乏により秩序が破壊され教養が退化することである。肥料のない農村、流行病のはやる部落、交通機関のない町、泥棒の横行する町村、闇の女の多い町、デコボコの教養、そして人類がものを正しく考へる力を失い、ものを正しく言う力を失い、ものを正しく行う力を失うことであります。今の日本民族の能率は恐らく米国人の何分の一位ではなかろうか。完全の栄養、完全の交通、完全の設備、そこでは五分で済むことが日本ではその何倍かかるであろうか。栄養失調と、戦後三年に亘る戦争は一噴く(?)新たな日本民族から正しくものを考へ、正しくものを云い、正しくものを実行する力を奪ってしまった。教養とは一つくの知識を系統だって積重ねるピラミットのようなものである。基礎がなく或はその建築の途中にごまかしがあると決して大きいピラミットは建築ができない。

今、戦争放棄の新憲法は施行された。この新憲法の新観念を裏付けるだけの新しい世界観とこれに対する逞しい実践運動が必要と思われる。その点から考へるも民主々義はこれを単なる国内の制度と考へることなく、これを国際新秩序と考へることが必要である。そして国際新秩序としての民主々義の前提として暴力の否定ということが全ての人によって実行されない限り、民主々義は或る一国の世界制覇の一手段とはなり得ても真に世界の平和と繁栄のための新秩序とはなり得ないのであります。

我国は厂史あって二千六百年、其の間正しい国家の形態をとったことは極めて稀である。藤原氏の専横に非ずんば応仁の乱、頼朝の幕府に非ずんば徳川の幕府、建武の中興は僅かに二年、明治政府は八十年にして滅びた。我国は天皇陛下のしろしめした国柄ということになっておりながら天皇陛下を中心として正しい政治が永く続いたためしがない。嗚呼！　以来我国は暴力の栄えた国である。大化の改新が宮中で蘇我の入鹿を殺すことによって我国の最初の革新が行われたことは決して我国の名誉とすべきではない。我国二千六百年の厂史は正義のためと称して簡単に人命のやりとりが行われた。正義とは何であるかと？。

この正義に内容を与へようとする努力と精進とが国民に高く評価されなかった。それがため如何なる時代にも楠木正成より大石(?)義雄を好む。櫻井の駅の訣別は劇になっていないが忠臣蔵の芝居は廃れず益々盛んになっていることは未だ正義を解せずと云いたい。正義に真理の内容を与えた弘法大師や親鸞上人、二宮尊徳翁という様な人は決して芝居にはならない。なぜであろうか。これは日本人には正義のためと云って、その正義に内容を与へる何等の努力をなさずして簡単に命のやりとりをしないと承知しないからであります。これは暴力を謳歌する正義というに外ならない。斯くの如くして日本民族は厂史あって二千六百年正義という名のもとに力強いものが暴力を以て日本民族を、ここまで来た。神武という暴力を、神武と云う暴力を極端なる迄美化であり神秘化であります。ぐつぐつ(?)言うことヤマトダマシイ！これが理論と定観した暴力の愛好であることは明らかだ。日本人位生死を軽々しく云うようで生死に拘泥する民族はない。若し生死に拘泥しないならば生きられるまで生き、死ななければならない時に死す（以下次号に続く）